

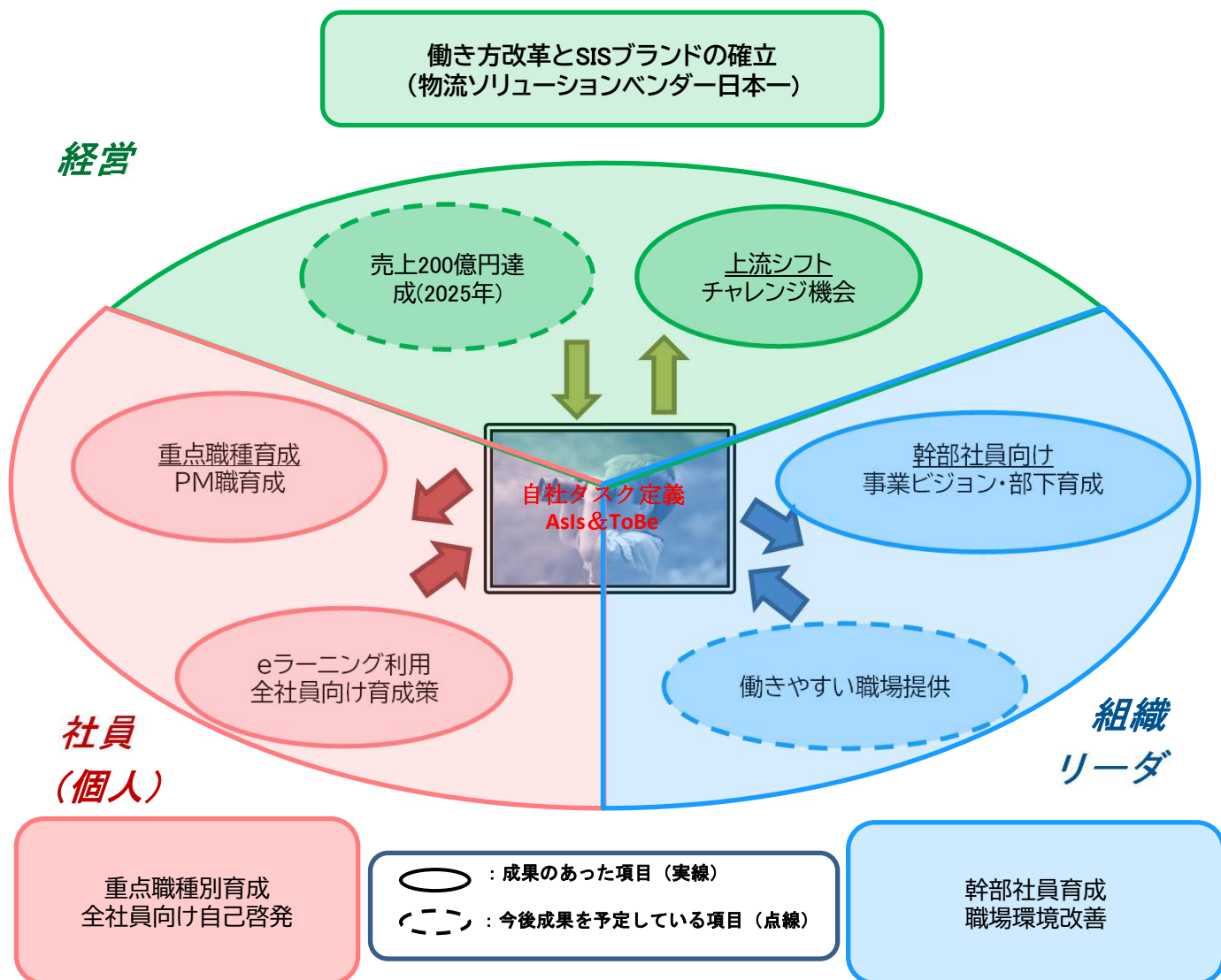


株式会社セイノー情報サービス

1. 会社概要

- 社名 : 株式会社 セイノー情報サービス
- 所在地 : 岐阜県大垣市田口町1番地
- 設立 : 1984年(昭和59年)3月1日
- 代表者 : 代表取締役社長 鳥居 保徳
- 資本金 : 1億円
- 社員数 : 440名(2021年3月末現在)

2. iCD取組み効果



4. iCD取組みの効果及び今後予定する効果内容

効果のあった項目	効果内容
上流シフト チャレンジ機会	<ul style="list-style-type: none"> 実績と期待度見込みの積極的昇進と昇格 上長による積極的な上位業務へ采配
幹部社員向け 事業ビジョン・部下育成	<ul style="list-style-type: none"> 全課長職(マネージャ/専門職課長)の育成 「事業ビジョン」および「部下育成」の徹底 フィードバックによるPDCA、各自コミットメント実行
重点職種育成 PM 職育成	<ul style="list-style-type: none"> 重点3職種(物流企画、PM 職、3PL 業務運用)の育成 「iCD」スキル定義から育成科目の抽出 イノベーション人材の育成に連動、PM 職向けパイロット
eラーニング利用 全社員向け育成策	<ul style="list-style-type: none"> 全社員のスキルアップ機会の提供 自己啓発による能力向上 IT系は新入社員研修に併用

効果を予定している項目	予定している効果内容（具体策なども記載）
売上 200 億円達成	<ul style="list-style-type: none"> 大規模案件の獲得、ストックビジネスによる収益アップ 協力会社パートナー企業の拡大 2025年までの次期三ヵ年計画で貫徹めざす
働きやすい職場提供	<ul style="list-style-type: none"> 上長の事業ビジョン、部下育成意識改革 組織内コミュニケーション展開、経営層座談会実施 職場レイアウト、什器類刷新

5. iCD活用に対する現場からの評価の声



経営者

- ・2020年度は、iCDの思想を十分に利用して、PM職を対象とした育成を実行できた。育成の目的は2025年度売上高200億円の達成であり、そのためにはシステム開発工程の付加価値を高めて、かつ大型案件等を複数並行稼働させる必要がある。よって開発上流工程を捌く人材確保が重要になっている。
- ・総務人事担当者は、iCDをツールとして全体把握したうえで、弊社利用できるiCD思想を俯瞰的な思考をもって展開してほしい。
- ・PM職に続き、弊社独特の分野である物流コンサルタント(物流企画職)、セールス職および起業において避けられない新技術(DX分野)への展開を期待している。



現場リーダー

【人事担当の現場】

- ・PM職へのスキルマップ導入は、システム開発部門の担当役員、部門長の理解ならびに各現場MGRの協力にて展開できた。また外部研修(OffJT)および実プロジェクトを通じたOJTの両輪で社員のスキルアップと実績作りを推進を本人、現場MGRおよび人事部門で共有できていることは大きな成果といえる。

・「iCD」の考え方をPM職に適用することは、いろいろな企業を通じて共通であり、設計しやすいと思う。今後の懸念事項は、弊社独自の物流コンサルタント(物流企画職)へのスキルマップ展開と育成計画である。現時点で、当該部門長とオリジナルのスキルマップと育成計画を作成して精査している。物流コンサルタントは重要職種の1つとしてPM職同等の位置付けにあるため、iCD思想をわかりやすく丁寧に説明していきたい。



社員